

所属名	事務事業名	ページ番号
秘書課	表彰事務	2
秘書課	市報さかの発行	3
秘書課	ホームページ運用事業	4
秘書課	新聞・テレビ・ラジオ・雑誌等を使った広報	5
秘書課	市民べんり帳作成事業	6
秘書課	佐賀市特産物広報事業（秘書課）	7
秘書課	シティプロモーション事業	8
秘書課	市政への提言	9
秘書課	広聴事業	10

令和3年度 事務事業進捗報告シート

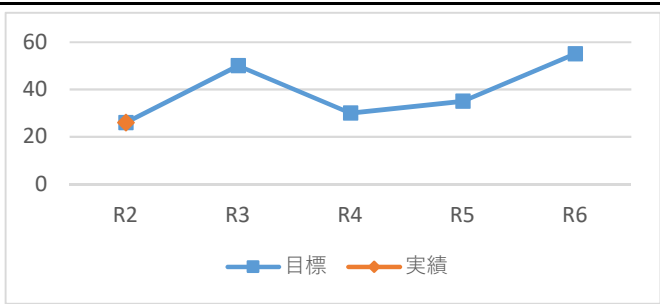
事務事業名	表彰事務	事業期間	昭和 44 ~	年度
担当部署・係名	秘書課 秘書係	担当課長名	小林 知季	
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち		
	施策	29参加と協働によるまちづくり		
	基本事業	市民活動団体への支援		

1 事務事業の基本情報

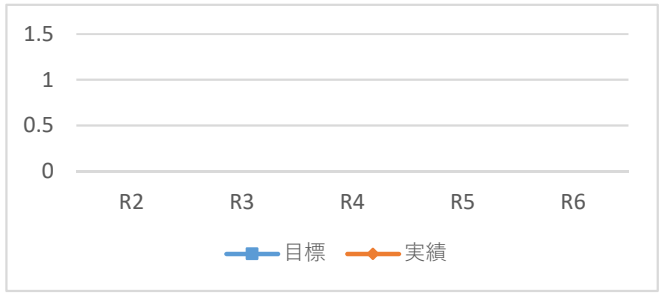
事業概要・目的	様々な分野での功績や市民の模範となる善行の行為を称えることで、その分野の関心が高まり、受賞者やその分野に携わる者の励みとなり、今後の更なる研鑽を喚起する。 議員、職員の功績を称え、職務における今後の更なる活躍を促す。				
事業の対象者	市民等（市政に功績のある者）、議員、職員				
令和2年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・佐賀市表彰【市政功労者表彰】個人23人、2団体 ・特別表彰 個人1人 ・議会議員表彰 正副市長8年 1人、在職20年 1人、在職10年 5人 ・職員表彰 勤続030年以上 58人、勤続20年以上 42人 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	2,324				
うち佐賀市の負担額	2,324				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
佐賀市表彰者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
26	50	30	35	55		



成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		



3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
佐賀市表彰において団体推薦以外に、陰で地道に活動されている個人・団体をさらに積極的に推薦してもらうよう各課に促す。民生委員・児童委員の改選時期に伴い、3年ごとに受賞対象者が多くなるため令和3年、6年度の目標人数を高く設定している。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	市報さがの発行	事業期間	昭和 40 ~ 年度
担当部署・係名	秘書課 広報係	担当課長名	小林 知季
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
	施策	30情報共有の推進	
	基本事業	広報の充実	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	月2回（1日・15日）の市報さが発行により、市政について広く市民等に伝え、市政への理解と協力を求める。また、点字市報・声の市報の発行により、視覚障害者等の地域における自立支援と社会参加を促す。				
事業の対象者	市内に居住する個人や事業所を有する事業者及び点字・声の市報を希望する人				
令和2年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 市報さが1日号及び15日号 1回あたりの発行部数：106,000部 点字市報1日号及び15日号 1回あたりの発行部数：67部 声の市報1日号及び15日号 1回あたりの発行枚数：80枚 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	63,846				
うち佐賀市の負担額	57,739				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
市報さがを読んでいる市民の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
72.3	72.8	73.3	73.8	74.3		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
<ul style="list-style-type: none"> ・手に取りたくなるような印象的な表紙や、読みたくなる特集企画を工夫 ・新型コロナウイルス関連等、市民が求める情報の充実

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	ホームページ運用事業	事業期間	平成 8 ~ 年度
担当部署・係名	秘書課 広報係	担当課長名	小林 知季
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
	施策	30情報共有の推進	
	基本事業	広報の充実	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀市ホームページには市政情報を随時掲載し、利用者が必要な時に、必要な情報を得ることができるようにしている。このため、CMS（コンテンツ・マネージメント・システム）により、効率的かつ効果的に市政情報を掲載できる環境を構築しており、サーバーセンターを活用して安定して稼働できる環境を維持している。平成26年に再構築を行い、平成31年度・令和2年度には機能追加等の改修を行った。				
事業の対象者	インターネットを利用する全ての人				
令和2年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・サイトの安定的な稼働とシステム維持管理 ・緊急的な情報（防災や新型コロナウイルス関連）の積極的な発信 ・市政広報番組を、該当するホームページ内のページへ埋め込み、有効活用した ・新型コロナウイルス関連情報をわかりやすく伝えるためのシステムを改修 ・市民等からの問い合わせについて、送信される経緯を変更するためのシステムを改修 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	4,662				
うち佐賀市の負担額	4,112				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
ホームページへのアクセス件数						千件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
7,400	7,405	7,410	7,415	7,420		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
<ul style="list-style-type: none"> ・新しい情報の随時更新 ・紙媒体やSNSでの情報発信の際に、ホームページへ誘導する仕組みづくり（QRコード等の活用）

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	新聞・テレビ・ラジオ・雑誌等を使った広報	事業期間	昭和 40 ~ 年度
担当部署・係名	秘書課 広報係	担当課長名	小林 知季
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
	施策	30情報共有の推進	
	基本事業	広報の充実	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市政への市民の理解を深めるため、各種広報媒体を活用して、佐賀市の取り組み等をわかりやすく伝える。				
事業の対象者	市民及び各種媒体を利用する人				
令和2年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞やタウン誌への定期広告を掲載 ・テレビやケーブルテレビで定期的に市政広報番組を放送 ・ラジオ3局で定期的に市政広報番組を放送 ・インターネットを活用して、情報発信（公式SNS・ニュースリリース配信サービス等） ・バスセンター及び市役所市民ホールのデジタルサイネージを活用し、広報番組等を放映 				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	54,752				
うち佐賀市の負担額	54,752				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
必要な市政情報が入手できていると感じている人の割合						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
65.5	68.2	68.7	69.2	69.7		

年度	目標	実績
R2	65.5	65.5
R3	68.2	
R4	68.7	
R5	69.2	
R6	69.7	

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

年度	目標	実績
R2	0	0
R3	0	0
R4	0	0
R5	0	0
R6	0	0

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載

成果目標達成に向けた対応策等
<ul style="list-style-type: none"> ・社会情勢に応じた媒体の選択（インターネット活用の強化） ・各媒体の特性に応じた、広報内容の検討

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	市民べんり帳作成事業	事業期間	昭和 63 ~ 年度
担当部署・係名	秘書課 広聴係	担当課長名	小林 知季
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
	施策	30情報共有の推進	
	基本事業	広報の充実	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市民の日常生活に関わりが深い市のサービスや施策を紹介するための冊子を、3年に1度の間隔で製作し市内の全世帯に配布を行う。また、市内への転入者へ配布する。				
事業の対象者	市民				
令和2年度 主な活動実績	市民べんり帳を作成し、市内全世帯及び転入者に配布 ・市民べんり帳発行部数：115,000部 ・点字市民べんり帳発行部数：95部 ・声の市民べんり帳発行枚数：220枚				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	11,015				
うち佐賀市の負担額	9,888				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
利用者の満足度						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
62.26	65	69	72	76		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
市民にかかわりの深い行政情報を提供し、生活に必要な行政情報を常時取得しやすくすることで、市民の市役所での手続きなどを容易にする。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	佐賀市特産物広報事業（秘書課）	事業期間	平成 23 ～ 年度
担当部署・係名	秘書課 秘書係	担当課長名	小林 知季
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
	施策	30情報共有の推進	
	基本事業	広報の充実	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	本市の特産品を市外の在住者に贈呈する時に、当該特産品の宣伝を行うことで、本市職員の宣伝能力の向上を図る。				
事業の対象者	市外対象者				
令和2年度主な活動実績	特産品として登録数34品中8品目の宣伝を実施 コロナ禍のため、市外の在住者と会う機会が激減し、令和2年度はあまり宣伝を行っていない。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	179				
うち佐賀市の負担額	179				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
特産品の贈呈数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
92	150	150	150	150		

成果指標②						単位
佐賀市の特産品に深く興味を示された件数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
92	150	150	150	150		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
職員への事業の周知 職員の宣伝能力を高める

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	シティプロモーション事業	事業期間	平成 26 ~	年度
担当部署・係名	秘書課 シティプロモーション室	担当課長名	小林 知季	
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち		
	施策	30情報共有の推進		
	基本事業	市のイメージの向上		

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	①本市の地域資源を磨き上げ、ブランド化をめざすことで、検索する、つぶやく、食べる、遊ぶ、働く、住むなどの様々な場面で、多くの人から選ばれる“さが”を創っていく。 ②市民や企業が地域の魅力を認識し、愛着と誇りを感じながら、ふるさと“さが”を人に薦めたいという「思い」や「行動」につなげていく。				
事業の対象者	首都圏、福岡都市圏、佐賀市民				
令和2年度 主な活動実績	・古湯・熊の川温泉のプロモーション動画「本当にあつたぬい話」を公開 ・移住促進プロモーション動画「佐賀市なんもな課」を制作、公開 ・東京圏に向けて、WEBや大型ビジョン広告、移住促進動画などで移住促進のための情報を発信 ・プロモーション大使6人による佐賀市の飲食店や事業所応援などの情報の発信 ・シティプロモーションの公式SNS（フェイスブック、インスタグラム）で、最新情報を発信				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	17,403				
うち佐賀市の負担額	10,913				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
シティプロモーションページへのアクセス数						回
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
15,368	15,500	15,600	15,700	15,800		

成果指標②						単位
SNS（フェイスブック、インスタグラム）のフォロワー数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
9,290	9,400	9,800	10,200	10,600		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載

成果目標達成に向けた対応策等

庁内関係部署で組織した「シティプロモーション推進会議」を開催し、プロモーションする情報の集約や共有を行いながら、シティプロモーション指針に沿った取り組みを進める。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	市政への提言	事業期間	平成 12 ~ 年度
担当部署・係名	秘書課 広聴係	担当課長名	小林 知季
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
	施策	30情報共有の推進	
	基本事業	広聴の充実	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	【市長と語る会】市長が市内各校区に出向き、市の主要事業等の説明を行った後、市民との意見交換を行う。これにより、市民に市政への理解を深めてもらうとともに、市政に対する意見や要望を行政施策に反映させる。 【市政への提言】提言箱及び電子提言箱等に市民から提出された提言等を市政施策に反映させる。提言者が回答を希望する場合には回答を行う。また、公開希望の提言は市HPで公開する。				
事業の対象者	市民等（市民、市内に通勤・通学している者、市政へ関心がある者等）				
令和2年度 主な活動実績	【市長と語る会】各自治会からの要請が無かったため、令和2年度の開催実績無。 新型コロナウイルスの感染状況もあり積極的な呼びかけは行っていない。 【市政への提言】提言制度の周知のため、全ての職員出前講座の際に提言用紙の配付、及び市施設（本庁、各支所、公民館等）の47箇所に提言用紙を設置。市報で提言制度の周知を行った。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	24				
うち佐賀市の負担額	24				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
市長と語る会の参加者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
-	90	135	203	304		

成果指標②						単位
施策へ反映した意見数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
138	339	347	355	364		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載

成果目標達成に向けた対応策等

【市長と語る会】各校区自治会や関係団体と協議しながら市民が参加しやすい開催日程を検討する。
【市政への提言】市報、テレビ、ラジオ等で制度の周知を行う。また、提出された意見については、早期に担当課と共有できるような事務処理を行い、市政に反映する。

令和3年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	広聴事業	事業期間	平成 19 ~ 年度
担当部署・係名	秘書課 広聴係	担当課長名	小林 知季
総合計画における位置づけ	政策	互いに尊重し合い、共に創るふれあいのあるまち	
	施策	30情報共有の推進	
	基本事業	広聴の充実	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	【インターネット市政モニター】佐賀市ホームページ内の市政モニターシステムを使い、携帯端末やPCを活用してモニター会員にアンケートを送付し意見を求める。 【職員出前講座】市内に在住又は通勤・通学している10名以上の団体に対し、市の担当者が出向き市が行っている業務の内容等を説明する職員出前講座を実施する。				
事業の対象者	市民等（市民、市内に通勤・通学している者）				
令和2年度 主な活動実績	【インターネット市政モニター】アンケート8回実施。 制度周知及び新規会員募集のため、市報への掲載、ラジオでの広報活動を行った。 【職員出前講座】講座テーマについて、11件の変更、5件の新規追加、1件を廃止する見直しを実施 出前講座について市報での広報を行った。				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	547				
うち佐賀市の負担額	547				

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
市政アンケート協力者延べ人数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
1,327	1,393	1,463	1,536	1,613		

成果指標②						単位
職員出前講座開催回数						回
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
68	72	76	80	84		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
	令和2年度は基準値となるため、令和3年度の実施結果から記載



成果目標達成に向けた対応策等
【インターネット市政モニター】新規モニターの募集及びアンケート実施について、市報・テレビ・ラジオ等で広報し市民への周知を行い、アンケート回答者数増に努める。 【職員出前講座】市報を活用し市民への周知を行うとともに、市民が受講したくなるような講座を増やし、実施回数増に努める。